

## 第11回高山駅周辺地区まちづくり協議会議事要旨

日 時 平成24年10月18日(水) 13:30~15:40  
場 所 高山市役所 201・202 会議室  
出席委員 17名

《副市長挨拶》

《委員の紹介》

《会長あいさつ》

《議 事》

高山駅周辺整備事業の実施状況と今後の予定について

一高山駅周辺整備事業の実施状況と今後の予定について事務局より説明一

《質疑等》

**【委 員】** 高山市の商工会議所との懇談会でも話があったが、すばらしい駅ができ、鉄道を利用されるたくさんのお客様がみえるという事で、周辺環境整備も大事であると思う。駅周辺は屋外広告物についても色、大きさ、高さまで細かい規制がかけられているが、高山市が平成21年に作成した高山市景観計画ができる以前の看板については、撤去等は難しいと思うが、計画的に持ち主と協議され、平成21年以降の規制に合うようにしていただけると、周辺整備とマッチしてくると思う。

**【事務局】** 高山市で景観計画を立てている。残念な事に規制以前の看板が多く、規制に合致していないのが実態である。今後はこういった事にも努力させていただき、立派な駅前を作っていきたいと思う。

**【委 員】** 駅西側の整備に併せて、本町にあるアンテナショップを駅西で出店し、土日には地域が交代で特産物の販売や紹介をするなど、お客様を誘致できるようにしてはどうかと思う。また高山市民として、地域の特産物に目を向けるという事も人の誘致に繋がると思う。

**【事務局】** 総合交流センター検討委員会の中でも、そのようなご意見をいただいております。今後の課題として考えていきたいと思う。

## 総合交流センターについて

—総合交流センターについて事務局より説明—

**【副会長】** 検討委員会では、機能を定める前に総合交流センターをどうしていくべきかという事が論議され、「高山市総合交流センターは市民の精神が表現された駅周辺空間の中で、人と人、人とモノ、人と情報の交流を通して、高山市民が健康になる機能で構成される」というコンセプトで話を進めてきた。ここで言う健康とは健康＝元気という事で、高山市民若しくはそこを訪れる人々が元気になれる施設であってほしいという事であった。

また、市民スピリットを表現するシンボル機能の中の、いのちの森づくり・里山風景についてであるが、いのちの森を作るのか里山を作るのかといった結論は出なかったが、高山市民が自然環境や今まで、森・山と共に暮らし営みを大事にしてきたという事を表現したいという事で、駅西に取り込んでいきたいという提案が多く委員から出されている。

**【会 長】** 機能に対しては既存施設との重複という事が懸念されている。総合交流センターの整備予定地の近くにある総合福祉センターと文化会館との役割分担がポイントになってくると思う。協議会の中に、総合福祉センター及び文化会館の管理者の方が委員として参加してみえるので、ご意見をいただきたいと思う。

**【委 員】** 高山市社会福祉協議会が総合福祉センターの指定管理を受けて運営をしている。総合福祉センターには総合的な福祉機能という事で、高齢者、障がい者、児童、母子、地域福祉の分野で災害に関わるボランティアセンターなどの機能を備えている。

隣接するポップ公園についても児童センターと併設しており、高齢者、障がい者、母子、児童など様々な皆さんが総合的に集り効果的に利用し事業ができている。ポップ公園は、多くの皆さんに利用をしていただく中で、車でなければ行けない方もたくさんおり、駐車場の確保という面では文化会館も含め、要望している。

福祉センターは市の条例で福祉関係者については使用料が減免により無料になるが、文化会館は有料である。福祉センターを利用される元気な高齢者には文化会館を利用していただくという事になると利用料が発生する事もあり、上手く調整できればと思っている。

駅舎・自由通路から福祉センターに繋がるルート、文化会館に繋がるルートを総合的に市民の皆さんが利用できる事を望んでいる。

【委員】 社団法人高山市文化協会が高山市民文化会館と公民館を指定管理者として管理している。高山市民文化会館は築後30年が経過し、施設や機材も老朽化していると同時に、機材の部品が無いという状態が出てきており、近い将来的には施設を考えなければならない時期にきていると思う。

文化会館は1階2階を市民文化会館、3階4階を公民館としている。それに伴い、文化会館が若干高い料金設定となっている事から、2階までの部分については空きが多くなっている。3階から4階の公民館については、音楽室や学習室の利用率が高くなっている。文化会館と公民館の料金設定の違いが2階部分の利用率低下の要因となっており、加えて近くには無料で貸していただけるような施設があると、どうしてもそちらに流れる傾向があると思う。文化会館は予約がいっぱいで借りる時間がないと市民の声が聞かれる事に対しては、申し訳ないと思っているが、時間帯をずらしていただく、曜日を変えていただく事で、今まで以上の利用率向上は図れると思う。利用される皆様方にご理解いただきながら進めていきたいと思っているが、まだ部屋に余裕はあると思う。

【会長】 既存施設の老朽化の問題や、利用料金の設定あるいは利用時間の設定が課題になりそうだったと言ったご意見であった。皆様からご意見ご質問を賜りたい。

【委員】 「いのちの森づくりモデル地区」としても位置付けていきたいという事であるが、実現していく為には、隣接する公園や道路など街全体を繋げ、同じコンセプトで進めていければ、この地区が機能的に良くなると思う。

【委員】 私の中では、市民文化会館と総合福祉センターが無くなり総合交流センターとして一つになると思っていた。若い子ども達の就職先が無いという中で、こういった施設ができる事はありがたいと思う。

景観の話があったが、以前文化会館を駅から見た時、外観が汚いと思った。駅から降りて自由通路を通る際には文化会館も見えるという事になるので、景観の問題の中で考えていかなければならないと思う。

室内トレーニング室については、ビッグアリーナでは少ないと思うため、センターに室内トレーニング室ができれば歩いて通える方が利用されると思う。

【会長】 文化会館も福祉センターもかなり老朽化しているという事であるが、今後の更新等の計画はあるのか。

【事務局】 文化会館については築後30年という事で老朽化してはしているが、耐用年数もあり、まだ使用できると思っている。建替えという話は今のところない。

【委員】 文化会館や総合福祉センターの機能を一つにするという事になると大変な施設になる。それぞれの施設機能は維持しつつ、それらに不足している、欠けている部分を新しい施設の中で機能的に位置付けていきたいと思っている。

文化会館の外壁について、まずは利用者の安全確保の為に耐震化補修や、トイレを洋式に整備をするなど順番に手掛けていきたいと思っている。総合福祉センター含め、施設整備は施設整備として維持補修を進める中で、新しい交流センターにはそれぞれ無い機能を位置付けていければと思っている。

【委員】 文化会館が30年前に建築された当時は、高山市のメインカラーは古代色と言われた時代があり、外壁にそういった色を使われた。

老朽化という事もさることながら、早期に建替える事はできないので、今ある施設をいかにして使っていくのかという問題になると思う。交流センター計画を進める際には利用の状況を十分に考えながら、文化会館は文化会館、福祉センターは福祉センター、交流センターは交流センターといった役割分担はしっかりしておいた方が、将来文化会館の建替えが必要になった時に、同じような機能があるといった無駄な事にはならないと思う。

【委員】 計画の中でプールは別に考える事になっているが、地域の中心にプールのような、水中で歩くといった健康に関する施設、仕事帰りに利用できるような施設が必要なのではないかな。

子育ての面でも、中心に綺麗で利用しやすい施設を整備していただくと、子どもに対する考え方や、子育て、未婚の方も前向きになると思う。

【委員】 検討委員会結果報告書にも記載があるように、今回の整備場所とは高山の新しい西の玄関という事で、高山の顔として位置付けていきたいと思っている。その中で、プールや温浴の施設は必要ないという話ではなく、高山の顔となる場所に必要なのか、もう少し広い意味で考えても良いのではないかなという事で意見をいただいたと思っている。

計画のエリアには現在何もない状態であるが、いのちの森であるならば森を作ってその中を散策いただく、健康という意味ではそこを活用する事によって元気なリフレッシュができるのではないかな、森の中に屋外の新しいステージを作るなど、今までにない発想で提案をいただくとありがたい。

【委員】 結果報告書に整備コンセプトとして「だれがどのように使うのかを明確にした整備」という事でまとめてある。また「箱モノ施設にならないように、中長期的に利用する市民像を想定し、その人々に見合った施設整備を進める」とも

書いてある。私は箱モノを造る事はどうなのかと思っている。高山の中心地は緑・林が少ないと言われている中で、高山市の将来を担う子ども達に負の財産として残さないようにするためには、公園的な施設が必要になってくるのではないかと考えている。将来的に箱モノが必要になってくれば造るという事も考えられるが、空間にしておいた方が良いのではないかと考える。

【委員】 高山市の顔という位置付けで整備するという話があったが、駅周辺を含め、コンセプトとの連動性はあるのか。

【事務局】 東西の駅前広場と繋がっている交流広場についても、同じような考えは活かしていきたいと思っている。

【委員】 駅周辺という事で、駅そのものが気になっている。JRの方々はどのような駅舎を考えているのか。私が思うに、観光客などが駅周辺で駅をバックに写真を撮りたくなるような駅舎にしてほしいと思う。木を沢山使用し高山の顔、高山らしさを出してほしいと思う。機能が揃えば便利になるとは思うが、高山らしさを失ってはいけない。

【事務局】 いただいたご意見のとおり高山らしさという気持ちはもっている。木を使うという事を全面に出したイメージ図を作っていた。基本設計の段階で、詳細なところまではできていないが、連続するようなイメージをもっている。

【委員】 駅舎そのものをイメージできる物は無いのか。

【事務局】 まだできていない。詳細については、JRと協定を結び、詳細設計をさせていただく予定である。

【委員】 JRの方に、こういった会議に出席していただき、要望を出し合うという事は無理なのか。

【事務局】 今までも十分伝えさせていただいている。本日も改めて意見をいただいたので、伝えさせていただきたいと思う。

【委員】 観光客の誘致を目的にした機能という事で、観光客を意識していただいている点についてはありがたいと思っている。高山市民がそういった場所を好きになってくれた上に観光客があると考えており、高山市民のための施設であって

ほしいと思う。

私も、森を主体とした広々とした空間の中に、四季の移ろいが感じられるような広場、子ども達が遊べるような空間がほしいと思っている。ポップ公園は小さいながらも非常に良いものを作ったと思った。

【委員】 俳句とは、色々なものから削ぎ落として、削ぎ落として、削ぎ落として最後に残ったものが俳句になると聞いた事がある。今回の交流センターについても、そういった考えをしていただくと、市民の皆さんにも喜んでいただけるような施設になると思う。

【副会長】 まちづくり協議会委員の中にも検討委員会の委員として参加いただいた方もみえるが、提案させていただいた機能までが、検討委員会としての限界であった。どういった施設にしていくのかという事を市から提案していただけると、絞り易くなるのではないかと思う。収益施設でいくのか、文化的な施設でいくのか、方向性を出していただけると、どの機能をチョイスするのかなど、やり易くなるのではないかと思う。

市役所の様々な部署がタッチして横断的に計画を進める施設は、これまで高山市では無かったのではないか。例えば、商工一つに特化するという事ではなく、横断的に検討いただき進めてほしいと思う。

【会長】 高山市の中心であり、駅前であり、顔に相当する所にふさわしい施設を造っていただくようお願いしたいという事になると思う。既存施設との競合も避け、役割分担ができるようお願いしたい。